

研究機関：広島大学

研究課題名	大腸癌に対する Wee1 阻害剤と免疫チェックポイント阻害剤との併用療法の効果の検討
研究責任者名	広島大学 内視鏡診療科 教授 田中 信治
研究期間	2021年11月22日(倫理委員会承認後)～2024年10月31日
対象者	2010年1月から2020年12月までの間に、広島大学病院で大腸癌の手術を受けられた患者さんを対象とします。
意義・目的	大腸癌においては、いまだ一部の腫瘍(高頻度マイクロサテライト不安定性症例)でしか、癌免疫療法の効果認められないと言われています。そのため、他の薬剤との併用によって治療効果を高める試みがなされています。また、細胞周期を調整している Wee1 は、大腸癌をはじめ様々な悪性腫瘍で過剰発現していると言われており、Wee1 を阻害することで細胞のアポトーシスを誘導すると考えられています。本研究では、Wee1 阻害剤が大腸癌に与える影響や、免疫チェックポイント阻害剤との併用療法の有効性について検討していきます。そこで今回、大腸癌症例の臨床所見と、プレパレートによる組織学的評価を行うことで、それらの関連性を明らかにするため、この研究を計画しました。
方法	本研究は、診療録(カルテ)情報を調査して行います。 カルテから使用する内容は年齢、病理組織所見、性別、病期、血液検査値、画像所見、生存期間、腫瘍局在です。本研究で遺伝子解析をされる予定はありません。(個人を特定可能な情報は解析に用いません。) 手術標本を用いて Wee1 による免疫染色を行い、Wee1 陽性細胞の発現の有無や局在などの組織学的な評価を行い、それらと臨床経過との関連性について検討を行っていきます。
共同研究機関	なし
試料・情報の管理責任者	広島大学内視鏡診療科 教授 田中信治
個人情報の保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。
問合せ・苦情等の窓口	〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 Tel: 082-257-5191 広島大学病院内視鏡診療科 教授 田中 信治(研究責任者) 大西 佳菜(担当者)